

令和7年度第1回 潟上地域リハビリステーション運営推進会議録

1. 日時 令和7年9月19日（金）14時～15時
2. 場所 トレイクかたがみ研修室1
3. 出席 潟上市役所健康長寿課 小林 様
飯塚地区民生委員 富浪 様
飯田川居宅介護支援センターわかば園 介護支援専門員 伊藤 様
利用者代表 A 様
利用者代表 B 様
利用者家族 C 様
潟上地域リハビリステーション管理者 渡部 見
潟上地域リハビリステーション 大竹 絵美子（zoom）
（欠席：山根町内会長 阿部様）

4. 活動状況に関する報告

潟上地域 リハビリステーション（大竹）	① 利用状況 登録人数は順調に増えてきている。6月は入院や体調者が増えたため、8月はお盆期間のため利用者が減っている。 ② 空調故障 空調設備修理のため、7月8日から1か月間玄関ロビーで営業をした。個別訓練や集団体操も玄関ロビーで行った。 ③ 今後のリハビリ コグニサイズ指導者、実践者を増やし、集団体操に取り入れていく。秋田大学との研究も進めていく。パーキンソン病特化のリハビリは研修申し込みをしたが落選してしまった。
潟上地域リハビリステーション （渡部）	パーキンソン病に特化したリハビリの研修については来年度も申し込みをする予定である。補助金を利用して口腔機能を評価・訓練する機器であるB4Sの購入を検討している。口腔機能の評価をし、機能低下の早期発見ができる。

5. 意見交換、質疑応答

潟上市健康長寿課 小林 様	利用者の生の声を聞くことができて参考になった。半日型の通所施設ということで人気がある。
民生委員 畠浪 様	自分も障害のある家族がいるため、支える家族の苦労はわかる。
介護支援専門員 伊藤 様	パーキンソン病のリハビリに期待している。自分の担当している利用者でもパーキンソン病で、パーキンソン病の友の会に入っている人がいる。
利用者代表 A 様	足のケガで手術をしたが、色々やってもらえて満足している。
利用者代表 B 様	6 月に膝の手術（人工膝関節）を行って、現在は痛みもなく良くなってきている。
利用者家族代表 C 様	息子がパーキンソン病と診断されて、昨年 12 月から通所利用している。東京の主治医からリハビリを勧められて始めたが、病気のせいもあり中々改善されない。週に 1 回の訪問看護も始めた。口の感覚異常から白米を食べたがらない、書字も小さくなっている。以前は散歩をしていたが、最近は何もなくなった。 ・ どうして潟上地域リハビリステーションを利用することになったのか（渡部） → ケアマネからの紹介で利用を開始した。 ・ 個別訓練では体幹や四肢近位部を固定させる訓練を中心に行っている。書字だけでなく、話す声も小さくなってきているため身体の訓練だけでなく口腔機能のアプローチも必要だと思う。